


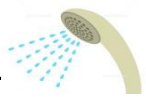




疾患別診療計画書

頸部再建術を受けられる方へ

	入院・術前日	手術日	術後1日	術後2日～	術後10日～	退院
治療 検査		朝の診察時、手術側の首元または手背にマジックで印をつけます。 手術室へ行く前に弾性ストッキングを履いて下さい。 午後の手術の場合は、午前中に点滴を入れます。 帰室後は、酸素を4時間します。 術後、尿の管が入ってきます。	毎朝、病棟の診察室で診察をします。		状況に応じて適宜採血を行います。	
		呼吸がしづらい、手足がしびれる、食物が飲み込みづらい、声が出しづらい等があったらお知らせください。 創部には、止血のためテープで強めにとめます。肌の弱い方はかぶれることがあります。その場合は処置をします。 創部に排液のための管が入ってきます。排液量と傷の状態ですべて抜去します。管が抜けたら、上肢に対するリハビリテーションを開始します。	朝まで酸素投与しません。 採血をします。			
食事	術前日の夕食より、食事残渣が少ない食事にします。 病院食以外は摂取しないでください。 術前日の21時以降は禁食になります。	飲水は午前3時まで可能です。 それ以降は飲んだり食べたりできません。	状況に応じ、胃管から栄養投与します。		検査の結果で食事が開始になります。	
安静	安静の必要はありません。	手術後はベッド上安静です。	朝までベッド上安静です。 その後、頸部以外は安静の制限はなくなります。 安静度についてはその都度説明します。			
清潔	午前入院：シャワーにお入りください。 午後入院：自宅で入浴を済ませてきてください。 前開きパジャマにお着替えください。		お体を拭きます。		排液の管が抜けたらシャワー・洗髪ができます。	
説明	<ul style="list-style-type: none"> 病棟の構造について 入院中の過ごし方について 必要物品について 手術について 麻酔科診察をされていない方は麻酔科診察があります。 薬剤については薬剤師より説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 手術終了後、医師より説明があります。ご家族の方には手術が終わるまで病棟でお待ちいただきます。 病院用PHSをお渡ししますので病棟でお待ちください。 			【退院後の留意点】 <ul style="list-style-type: none"> 退院後、しばらくの間は長湯・激しい運動・喫煙・飲酒・刺激物の飲食はお避け下さい。 次回外来までは、傷の茶テープを貼っておいてください。 定期受診を忘れずに受けてください。 気になる症状があれば早めに受診してください。 	